

乳腺外科

【広島市民病院 乳腺外科の特色】

豊富な原発乳癌手術症例 433 例（2009 年 全国 7 位）、407 例（2010 年 全国 9 位）、412 例（2011 年 全国 8 位）、393 例（2012 年 全国？位）をスタッフ 3 名、後期研修医 2 名のみで管理している状況で、今、我々乳腺外科に加わっていただければ即戦力として期待され、豊富な症例数を診断から治療まで一貫して経験できます。また我々は学会活動にも力を入れており、年間で平均 30 件以上の発表を行っています。毎年 2 件以上の海外発表も行っていますので、研修 3 年目には頑張れば海外発表も可能です。また世界に向けてエビデンスを発信するために臨床試験、global の臨床治験にも積極的に参加しており、世界最先端の治療を身近で感じることができます。外科をはじめとして放射線科、腫瘍内科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、薬剤部、看護部、緩和ケアチームなどと連携協力し「一人の患者さんご家族の満足」を目標にチーム医療を推進しています。なんといっても当科の特徴は大谷、伊藤、梶原、藤原、金の 5 名のスタッフが皆、仲良く和気あいあいと仕事していることです。大変ありがたいことにおじさんだけでなく華やかな女医さんが 2 名（梶原友紀子先生・藤原美和先生）います！！（乳腺外科はピンクのスクラブを作成しています。おじさん達は恥ずかしくてあまり着ていませんが、先生も是非一緒にピンクのスクラブを着て頑張りませんか？）是非とも若く輝いている先生が広島市民病院 乳腺外科でさらに全国区で戦える乳腺外科医として開花していただきたいと考えています。大谷、伊藤、梶原、藤原、金は、先生の参加を心からお待ちしています。

【研修目標】

乳腺外科は画像診断から始まり、手術、乳房再建術、化学療法、ホルモン療法、分子標的治療、放射線治療、緩和医療まで多くの分野があり、様々な他科、診療部門と協力して検査から治療まで一貫した患者管理を行います。乳腺外科のプログラムでは乳腺疾患の診断治療に対する知識、技量に加え医師としての良好な人格を兼ね備えることを目標とします。それらの治療経験を積むことによって日本乳癌学会 乳腺認定医および乳腺専門医の取得を目的とした研修を行います。

広島市立広島市民病院

【研修内容】

初期研修終了後の医師に対し、乳腺外科を主軸として、まず日本外科学会専門医取得のため、外科、呼吸器外科、小児外科、心臓血管外科、救急部と連携協力し、日本外科学会の定める到達目標 ①消化管および腹部内臓 50、②乳腺 10、③呼吸器 10、④心臓・大血管 10、⑤末梢血管 10、⑥頭頸部・体表・内分泌外科 10、⑦小児外科 10、⑧外傷 10、⑨鏡視下手術 10 の最低症例数ならびに 350 例以上の術者助手の経験を目標とします。

乳腺疾患については 100 例以上の術者、200 例以上の助手の経験と日本外科学会専門医取得後の日本乳癌学会 乳腺認定医、乳腺専門医の取得はもとより、検診マンモグラフィ読影認定医取得、乳がん超音波検診実施者、日本超音波医学会認定超音波専門医についても指導を行います。

※学生の皆様は研修医プログラムの 1 年目の集約部分を経験していただく予定です。

＜研修プログラム 1 年目の内容＞

1. 乳腺外科、外科入院患者の術前治療計画を組み立て、各種診断、検査に参加する。
2. 患者・家族に適切な説明を行うことができる。
3. 手術の第一助手および小手術の術者となる。

手術目標：センチネルリンパ節生検、乳房温存手術、乳房切除術、鼠径ヘルニア手術、虫垂切除術、開腹胆嚢摘出術、腹腔鏡下胆嚢摘出術など

4. 一般的な疾患に対して適切な術後管理ができる。
5. 救急患者の診察ができ、手術適応の決定が行える。
6. 各種学会に参加し症例報告を行うことができる。

【当科の週間スケジュール】

月	火	水	木	金
カンファレンス	カンファレンス		カンファレンス	カンファレンス
外来見学	手術	手術	検査	手術

広島市立広島市民病院

【実習指導医】

主任部長	大谷 彰一郎
部長	伊藤 充矢
医師	梶原 友紀子
後期研修医	藤原 みわ
後期研修医	金 敬徳（平成27年度初期研修医）